

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	令和6年度
事業者名	あさおスポーツムーブメント共同事業体 〈代表〉 株式会社コナミスポーツ 代表取締役 室田 健志 東京都品川区東品川四丁目10番1号 〈構成員〉 イオンディライト株式会社 支社統括本部 関東支社横浜支店 代表者 支店長 良知 勤	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数合計	19,364	19,540	21,701	19,695	19,362	21,125	22,236	20,235	21,199	17,734	20,129	25,838

  

収支実績	費目	内 訳	①提案額	②予算額	③決算額	②と③の差額	増減率
	I 収入の部						
1 指定管理料			42,945,000	42,945,000	44,112,000	1,167,000	2.7%
2 利用料金収入	個人利用・団体利用		39,824,000	39,824,000	39,978,000	154,000	0.4%
3 教室事業収入	スポーツ定期教室		32,933,000	32,933,000	31,475,000	-1,458,000	-4.4%
4 物品等販売収入	物販、自販機手数料等		5,142,000	5,142,000	1,946,000	-3,196,000	-62.2%
5 その他収入	運動サポート等		2,665,000	2,665,000	167,000	-2,498,000	-93.7%
6 利用料金過誤徴収			0	0	2,000	2,000	
7 補填金			0	0	3,258,785	3,258,785	
(収入計)			123,509,000	123,509,000	120,938,785	-2,570,215	-2.1%
II 支出の部							
1 人件費関係			71,466,000	71,466,000	60,447,000	-11,019,000	-15.4%
2 事業関係経費			20,405,000	23,027,000	35,127,000	12,100,000	52.5%
3 管理運営経費			31,638,000	31,835,000	29,161,000	-2,674,000	-8.4%
4 利用料金過誤徴収返金			0	0	2,000	2,000	
(支出計)			123,509,000	126,328,000	124,737,000	-1,591,000	-1.3%
III 収支（収入と支出の差）			0	-2,819,000	-3,798,215	-979,215	
収支比率（収入／支出）			100.0%	97.8%	97.0%		

  

サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年末年始の開館日を引き続き延長し、利用機会の増加を図った（12/29は258名、1/3は273名が利用）。</li> <li>○ 正確な情報の伝達を狙い、1階受付周辺の掲示物の更新を実施した。</li> <li>○ 新たに利用者から要望の多いピンマイクの貸出を開始した。</li> <li>○ スポーツデーの認知度向上を目指し、スポーツデーの利用を促す専用チラシを新たに作成し、掲示・配布した。</li> <li>○ 旧年度の取組結果を参考に種目を柔軟に変更するなど、より利用者ニーズに沿った教室事業を展開した。</li> <li>○ 比較的参加者の少ない幼児向け教室の集客のため、対象教室についてデジタルサイネージや掲示板による告知を開始した。</li> <li>○ 定期教室募集開始時に大型ポスターを作成し、屋外掲示板と受付前に設置した。</li> <li>○ 卓球用品特別セールを開催した。</li> <li>○ 利用者がトレーニングの成果を気軽に確認できるよう、月初に無料測定日を設定した。</li> <li>○ 定員に空きがあるすべての教室で一日体験を行い、年間111名が利用した。</li> <li>○ 7/15開催の「麻生区ボッチャ大会」に向けてボッチャの練習場所のニーズがあることを想定し、小体育室を開放してコートを設置し、自由に練習ができる「ボッチャ練習会」を3回にわたり実施した。</li> <li>○ バラスポーツ用具の保管場所を統一・整理し、迅速に貸し出せるよう改善した。</li> </ul>
-----------	--

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	2(0.4)	2.4
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3(0.6)	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) <b>【利用者満足度】</b> ○ 事業計画に則り、利用者へのアンケート調査を実施したが、回収数は57件と、昨年度の406件から減少した。 ○ アンケート調査の結果、利用者満足度は昨年度よりも低下した。 ○ 麻生区役所に直接連絡が入った苦情・意見について、早急に対応を検討し、必要な措置を講じた。 ○ 「お客様の声BOX」の設置を継続し、要望等に対する回答を作成の上、掲示板に掲示後ファイリングし、利用者が容易に閲覧できるよう入口付近に設置した。					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3(0.6)	3.6	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3(0.6)	3.6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3(0.6)	2.4	
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>【収入の確保】 ○スポーツデーや教室の実施内容・方法の見直し、新たな教室の開催、リピーター獲得を狙ったスタンプラリーの実施等に取り組んだ結果、利用料金収入及び教室事業収入が前年度を上回った。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ○過去10年にわたり、設備専用利用料を過誤徴収していたことが令和6年度中に発覚したが、前指定管理者及び利用団体と迅速に調整の上、全て返金を行った(件数:421件、団体・個人数:46件、466,850円)。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4(0.8)	4.8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4(0.8)	4.8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ○前述の「サービス向上の取組」のとおり、年末年始の開館日延長、掲示物の刷新、貸出物品の見直し、スポーツデーの認知度向上等に取り組んだ結果、スポーツデー、トレーニング室、団体利用の各参加人数が前年度を上回り、全体の利用者数は第4期中最高となった。</p> <p>【適切なサービスの提供(教室事業)】 ○従来スポーツセンターを使用してこなかった層にアピールする取組として、川崎市スポーツ協会と連携し、初めて「健康麻雀教室」を2回開催した。両日とも定員一杯となる等、好評であった。 ○秋の定期教室募集開始に合わせ、教室名や講師、開催時間等を変更し、利用の拡大を図った。 ○募集開始時に大型ポスターを屋外掲示板と受付前に設置したほか、比較的参加者の少ない教室については特に取り上げてデジタルサイネージ等で告知を行った。</p> <p>【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業)】 ○総合型地域スポーツクラブと連携して「わくわくイベント」を開催するなど、団体支援に加え多くの区民に対してスポーツに親しむ機会を提供した。 ○麻生区スポーツ推進委員会の協力により、誰もが楽しめるニュースポーツ教室を定期開催した。</p> <p>【業務改善によるサービス向上】 ○利用者アンケートにおいて、トレーニング室スタッフの応接に関する評価が低かったため、全スタッフに結果を共有するとともに、特にトレーニング室のスタッフに対して注意喚起を行った。</p> <p>【利用者の意見・要望への対応】 1階ロビーに「お客様の声BOX」を設置。寄せられた要望・意見は職員ミーティングで共有し、1週間以内に回答を作成し施設内に掲示した。</p>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3(0.6)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	3(0.6)	4.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス・個人情報	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3(0.6)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ】</p> <p>○施設統括スタッフに加え施設管理スタッフを含めて定例会を開催することで、所管課との情報共有体制を強化しており、定例会以外でも随時電話やメールにより情報共有を行っている。</p> <p>【安全・安心への取組】</p> <p>○心肺蘇生法やAED操作について、スタッフ全員に資格取得を義務付け、予定どおり達成した。</p> <p>○施設内でも比較的危険度の高いトレーニング室にはスタッフ2名を配置し、特に初回使用時には詳細な説明を行った。</p> <p>【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】</p> <p>○個人情報保護の理解度向上、適正な管理を目的としたWEBテストを全スタッフを対象に実施した。</p> <p>○区内在住者を積極的に採用した。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3(0.6)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】</p> <p>○建物・設備の保守管理を計画的に実施した。</p> <p>○年に1回、トレーニングマシンのワイヤー交換を行った。</p> <p>○トレーニングマシンのベンチシート張替を実施した。</p> <p>○中央監視システムUPSのバッテリー不良、屋外電灯の漏電、駐車場ロック板の故障、大体育室・小体育室等における漏水等、修繕の必要な箇所について迅速な対応を行い、快適な環境づくりに努めた。</p> <p>【外構・植栽管理、備品管理】</p> <p>○計画的な植栽管理の実施により、快適な環境づくりに努めた。</p> <p>○適正な備品管理を行っている。</p>					

#### 4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさきパラムーブメントに関する取組</li> <li>・川崎市市制100周年事業に関する取組</li> <li>・市立小中学校が総合学習で実施する体験的学習への協力</li> </ul>			1
	<p>(評価の理由)</p> <p>○「かわさきパラムーブメント」の理念に則り、麻生区スポーツ推進委員会と連携したニュースポーツ教室を毎月第2土曜日に実施した。</p> <p>○7/15開催のあさおスポーツまつり、10/14開催のスポーツの日記念事業イベントでニュースポーツの体験会を開催するなど、誰もがスポーツに楽しめる、参加できる運動機会を提供した。</p> <p>○市所有のポッチャセット等、パラスポーツ用具の貸出と保管を担い、地域におけるパラスポーツの振興に協力した。</p> <p>○川崎市市制100周年事業に協力し、7/1の市制記念日に特別スポーツデーを開催して小中学生を対象に卓球、バドミントンの無料開放を行った他、中学生を対象にトレーニング室の利用を無料とした。</p> <p>○市立小中学校が総合学習の時間で実施する体験的学習を積極的に受け入れ、柿生中学校、金程中学校、生田中学校、白鳥中学校、はるひ野中学校、長沢中学校の職場体験学習、金程中学校の校外学習、麻生小学校のまちたんけんについて受入を行った。</p>				

#### 5. 総合評価

評価点合計	62.2	評価ランク	C
-------	------	-------	---

#### ※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準 (評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>○民間スポーツクラブを多数運営する代表企業のノウハウを活かし、サービスの向上に向けた取組を継続して実施した結果、スポーツデー、トレーニング室、団体利用の各参加人数が前年度を上回り、全体の利用者数は第4期中最高となった。</p> <p>○仕様書等に定められた事項について問題なく実施したほか、年末年始の休館日延長等、仕様書にないサービス向上の取組も実施した。</p> <p>○施設・設備の管理に関して大きな問題はなく、天井からの漏水が度々発生したものの、適宜対応を行った。</p>
--

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>○今後も利用者ニーズを把握しながら施設の利用提供方法やサービス内容について創意工夫を行い、多くの方に利用していただけるよう努めること。</p> <p>○利用者意見を聞き取る環境づくり、特にアンケートサンプル数の増加に向けた工夫を行い、意見・要望を公の施設としての運営に活かすこと。</p> <p>○件数は多くないものの、スタッフの態度や対応に関する苦情が継続して寄せられているため、引き続き従業員教育に努めること。</p> <p>○利用者数はコロナ前水準にまで回復したが、利用者や稼働率の更なる増加に向けて、従来スポーツセンターを利用してこなかった層に対するアプローチが必要となる。そうした層にアピールする新たな視点の事業や、魅力的な広報物の作成、発信内容の再検討を行うこと。</p> <p>○チラシ等広報物作成の際には、文字の大きさや色遣い等について誰でも読みやすいユニバーサルデザインを心掛けること。</p>
---